



緑と水の郷
山陰で語る **日本の歩むべき道**
原発ゼロ・自然エネルギー活用の未来 講師 小泉 純一郎 元総理大臣
島根県民会館

島根県の自然環境は、
豊かな自然環境、美しい風景で、
でも島根県人は公害や公害病を
経験はじめてきた。
公害と、島根県は関係ない。
島根県に公害は、ありしてない。
公害は、島根県にない。

小泉純一郎元総理講演会

緑と水の郷・山陰で語る

日本の歩むべき道

原発ゼロ・自然エネルギー活用の未来

2019.2.16

島根県民会館

小泉純一郎氏講演会

原発ゼロ・自然エネルギー活用
日本の歩むべき道
緑と水の郷・山陰で語る

2019年
2/16(土)

主催 小泉純一郎氏講演会山陰実行委員会

参加費 500円

中学生以下・介助者1名 無料
前売券あり・当日参加も可



元総理大臣、原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟顧問

会場 島根県民会館 大ホール 定員 1,500名

開場 12:20

講演 13:00

手話通訳・要約筆記あり
託児あり(205号室)

託児は0才～6才まで10日前までに申し込み
(090-3889-3519 山崎)



チケット取り扱い／松江：県民会館・プラバホール・今井書店（学園通り店・田和山センター店）／米子：本の学校今井ブックセンター・ビッグシップ・米子市公会堂／出雲：今井書店出雲店・ビッグハート出雲・ラピタ本店／安来：アルテピア／雲南：チェリパホール

【共同代表】飯塚大幸(一畑薬師管長)、河本六美(米子市連合婦人会会長) 北川 泉(島根大学元学長)
小松昭夫(一般財団法人 人間自然科学研究所理事長)、花柳萌淡(日本舞踊花柳流師範)
【呼びかけ人】小椋あけみ(グリーンコープ生活協同組合とっとり理事長)、勝部寛信(元島根県立高等学校校長)
金森美智子(妻川生協病院院長)、津田信儀(元島根県高等学校教職員組合委員長)、矢田辰夫(知夫村元村長)
吉田由佳(グリーンコープ生活協同組合《島根》理事長)、安田寿朗弁護士
長谷川 稔(元倉吉市市長・鳥取県議会議員)、岡崎由美子弁護士(日本弁護士連合会副会長)
【問合せ先】実行委員会事務局：島根原発・エネルギー問題県民連絡会(連絡先：0852-22-7316)

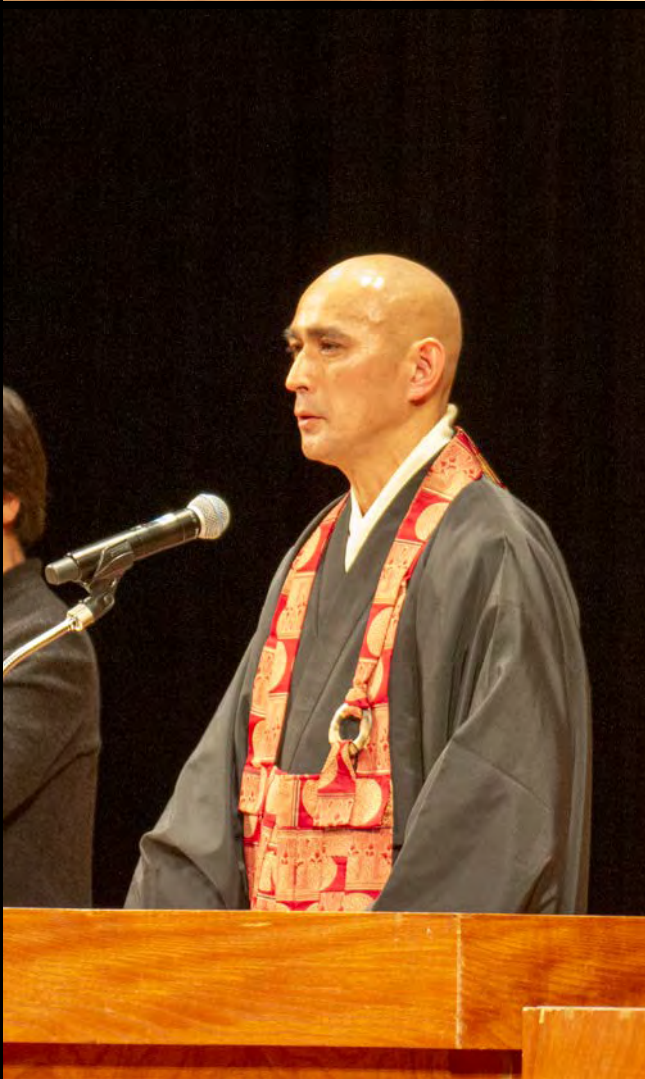








実行委員会共同代表 一畑薬師管長 飯塚大幸 挨拶



元内閣総理大臣 原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟顧問 小泉純一郎 講演







小泉純一郎元総理の講話に応える大ホールの拍手



大ホール2階席から小泉純一郎元総理の講話を聴講する方々



実行委員会共同代表 人間自然科学研究所・小松電機産業代表 小松昭夫 書籍贈呈



東京オペラ協会代表 石多エドワード 書籍贈呈



実行委員会共同代表 日本舞踊花柳流師範 花柳萌淡 花束贈呈



第2会場 2F多目的ホール



元静岡県湖西市長 原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟幹事 脱原発をめざす首長会議世話人 三上元 講話



実行委員会事務局長 島根大学名誉教授 保母武彦 挨拶



第2会場 2F多目的ホール



第3会場 3F大会議室



大ホールステージ裏



脱原発 政府主導で 小泉元首相が訴え

松江 講演に2100人



ルギーへの転換を政府主導で進めるべきだと訴えた。小泉氏は、2011年3月の東京電力福島第1原発事故後に全原発が停止して、深刻な電力不足に陥らなかったとして、「原発ゼロで暮らせることは証明された。なぜ原発にこだわるのか」と主張。原発から出る高レベル放射性廃棄物（核のごみ）の最終処分地が決まっていないことにも触れ、「与党野党が協力し、原発をやめようと立ち上がるべきだ」と呼び掛けた。さらに、政府がエネルギー基本計画で、30年度の電源構成比率のうち原発の割合を20〜22%にする目標を掲げていることを疑問視した上で、「日本は自然資源に恵まれている。政府が音頭を取れば、10年足らずで自然エネルギーの電源構成比率を30%にできる」と強調した。

小泉氏は09年の政界引退後、福島事故を契機に原発推進から脱原発に転じた。講演は、中国電力島根原発（松江市鹿島町片匂）の稼働に反対する市民団体「島根原発・エネルギー問題県民連絡会」などで行われる実行委員会が主催。約2100人が聴いた。（平井優香）

山陰中央新報 2019年2月17日掲載



「自然エネの時代だ」

小泉元首相が原発ゼロ講演 松江
「原発ゼロ社会の実現」を訴えて全国行脚中。小泉純一郎元首相の講演会（実行委員会主催）が16日、松江市内で開かれた。福島第1原発事故を教訓に、原発から自然エネルギーへの転換という実現可能で国民みんなが

「原発ゼロ」を訴える小泉氏＝16日、松江市殿町の島根県民会館

主張していた「原発は安全、低コスト、クリーン」は全てうそだと、首相時代の原発推進の考えを改め、脱原発を訴えている。講演では、福島第1原発事故前に全エネルギーの2%だった自然エネルギーが18年は15%になったと紹介。「日本は太陽光、風力、地熱と自然エネルギーに恵まれている。国が後押しすれば、国のエネルギー計画の30年の原発依存20〜22%は自然エネルギーに換えられる」と述べた。

原発について、核燃料サイクル事業の破綻や核のごみの最終処分場のめどが立たない問題点などを指摘。「原発に頼らず自然エネルギーで経済発展する時代」と結んだ。

実行委事務局長の保母武彦島根大名大学教授は「保守を超え、保守政権の中心にいた人が原発ゼロを訴えた話は重い」と話した。（酒井建治）

日本海新聞 2019年2月17日掲載

「原発事故 国なくなる危険」



熱弁をふるう小泉純一郎氏＝松江市殿町

小泉元首相 松江で講演

「原発ゼロ」を訴える小泉純一郎元首相(77)が16日、松江市殿町の県民会館で講演した。原発のリスクと再生可能エネルギーの可能性などを約1時間半にわたって熱弁。「政党は関係ない。右も左もない。近々、全政党が原発をやめようという時代が来ると思っている」と訴えた。

市民団体「島根原発・エネルギー問題県民連絡会」(事務局長・保母武彦島根大名普教授)などをつくる実行委が主催。主会場の大ホール(約1700人)は満員になり、別会場ともライブ中継をつないだ。同団体によると、来場者は約2100人という。首相時代に原発推進の立

場だった小泉氏は、福島第一原発事故を機に考えが変わったと説明。「あんたはぶれない総理だと言われたが、ぶれた。でもいい方向にならないじゃない」と笑いも誘った。

小泉氏は、福島の原発事故では最悪の場合、東京まで含んだ、原発から半径250キロ圏内の人が避難しなければならなかったとし、「原発は単なる事故に終わらず、国がなくなるような危険性を持っている」と指摘。事故後に全国の原

発が停止したまま生活できたことや、太陽光発電などの再生可能エネルギーの供給量の増加を挙げ、「原発に頼らず、新エネルギーでやっていく。そうなることを期待しながらあきらめずやっていく」と話した。

雲南市大東町から友人2人と来た小山賢子さん(83)は「(小泉さんは)首相時代と、がらっと考えが変わったことが分かった。話はとても分かりやすく、自分たちも何かできる気がした」と話した。(市野塊)

小泉氏「自然エネルギー転換を」

小泉純一郎・元首相が16日、松江市の県民会館で講演を行った。脱原発の持論を展開し、約2100人が聞き入った。

島根原発・エネルギー問題県民連絡会などをつくる実行委員会が主催。会場の大ホールに入りきらず、別室のモニターで講演を聞く来場者もいた。

講演で、小泉元首相は「日本の原発は安全だと言われていたが、東日本大震災(による原発事故)でおいしいと思い、原発の本を読み始めた」

松江 脱原発で持論

と現在の持論に至った経緯を説明。「原発ゼロで、自然エネルギーへの転換ができる時代にきている。与野党が協力できる素地があるのに、なぜ政府は(脱原発に)立ち上がらないのか」と訴えた。

福島第一原発事故後、国の方針で脱原発を掲げ、自然エネルギーで3割超の電力を供給するドイツを例に挙げ、「日本は太陽光や風力などに恵まれている。(日本の電源構成で原発が占めていた)30%(を自然エネルギーに変えること)なんて10



年足らずで実現できる」と主張した。

熱弁をふるう小泉元首相(松江市で)

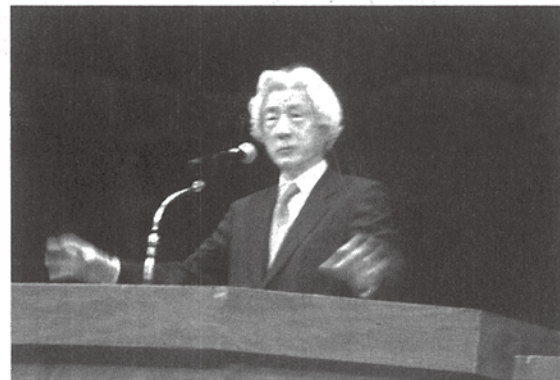
読売新聞 2019 年 2 月 17 日掲載

原発ゼロでやっていける

小泉元首相、松江で講演

松江市殿町の県民会館で16日、小泉純一郎元首相が「緑と水の郷・山陰で語る日本の歩むべき道」と題して講演し、原発ゼロと自然エネルギーの活用を訴えた。同講演会実行委員会の主催。

首相在任中は原発推進派だったが、2011年の東京電力福島第1原発事故を契機に勉強し直し考えが変わったという小泉元首相。推進派の主張してきた「安全性」を「いつまた地震、津波がくるかわからない」と否定し、「コストの安さ」とクリーンエネルギー」の2点も、廃炉や除染にかかる費用と、放射性廃棄物処理の面から否定。国すべての原発が停止していた13年9月から15年9月までの2年間、一度も停電が起



原発ゼロを訴える小泉元首相＝16日、松江市殿町の県民会館

こらなかつたことが、原発ゼロでやっていける証明だとし、「まだ」だわって動かそうとしている。呆れるしかない」と語った。

その上で、全発電量に占める太陽光発電などの自然エネルギーの割合が、福島第1原発事故以前は2%だったのに対し、現在は15%

に達したと指摘。「政府が音頭をとって『自然エネルギーに切り替えよう』と言えば、原発が提供していた30%分のエネルギーなんて10年かからない」と主張した。

同講演会は事前に当日券の発行中止が決まるほど反響が大きくなり、定員1500人を大きく上回る約2100人が訪れ、立ち見や、館内に設けられたライブ中継会場で講演を聞く人も少なくなかった。

同講演会実行委員会事務局長で島根大学名誉教授の保母武彦さんは「会場も非常に静かで、しかも反応すべきところは反応する、一つの心に通いあったような大講演会だったと感じる」と話していた。

島根日日新聞 2019 年 2 月 17 日掲載

元湖西市長の三上元氏の講話を聞き共感された、開演前の動画で紹介した広島被爆石の石碑をオーストリア・ウィーンに建立されたイップ常子氏よりメール

受信日時：2019 年 2 月 19 日 0 時 38 分



小松社長様、小林様

素晴らしい写真集と動画を拝見させていただきました。動画の中で社長様、小林様のお姿を拝見でき、とても身近にまるで私もそこにいるかのような気になりました。特に動画の中でオーストリアの原子力発電所は完成したものの一度も稼働されることはなく、現在は博物館となっていますと講演の中で拝聴し、とても嬉しく思いました。やはり松江とウィーンもどことなく共通点があるかのように思えます。次回はぜひその原子力発電所をご案内致したいと思います。我が家から車で1時間の所です。

ハプスブルグ帝国が最も繁栄したのはマキシミリアン1世時代の政略結婚からと言われています。今年は彼の没後 500 年で、2 月 23 日には ウィーン工芸館で彼にまつわるお話をいたします。これはウィーン在住の日本の方々を対象にご案内致します。

マキシミリアン 1 世の父親は謎めいた格言 AEIOU をさまざまな所に記していますが、それはラテン語で、直訳すれば、「世界は全てオーストリアに従う」「オーストリアは滅びず」「オーストリアは全世界を支配せん」などと言う意味などが含まれているそうです。

この格言はこの度のプロジェクトと共通点が伺える感じです。

2000 人以上の講演会とは本当に素晴らしい企画を実行されましたね。ご成功を心より申し上げます。

所で現在 9 月 5 日から 9 月 11 日 8 日間のブダペストとウィーン、ザルツブルグを企画中です。完成しましたら送付致しますので、ぜひご参加してくださいね。これは広島オーストリア協会主催で、今年は広島被爆石が、世界平和モニュメントとして、ウィーンに寄贈されてちょうど 10 周年を迎えます。また今年は日唄修好 150 周年の年でもあります。

それで安倍首相との会談後、2 月 16 日にはオーストリア首相もわざわざ広島まで足を運ばれたのです。2 月 20 日はトランプ大統領との首脳会談でアメリカに発たれました。

またビッグニュースを楽しみにしております。

Ipp 常子

参考資料

ツヴェンテンドルフ原子力発電所 (オーストリア)



ツヴェンテンドルフ原子力発電所 (ドイツ語: Kernkraftwerk Zwentendorf) はオーストリアで最初に建設された原子力発電所。ニーダーエスターライヒ州ツヴェンテンドルフ (英語版) で建設が始まり、原発は完成したものの、運用されることはなかった。

概要

1972 年の 4 月に建設が開始され、692MW の発電量の沸騰水型原子炉を建設することとなった。これは幾つかのオーストリア電力公益企業の共同企業体によって、当初計画されていた 6 ヶ所の原発の最初の一つとして建設が始まった。当初コストはおおよそ 140 億オーストリア・シリングで、現在価格ではおおよそ 10 億ユーロとされる。喚起煙突は 110m の高さを誇った。

しかし、ツヴェンテンドルフの運用開始や他の 5 個の原発の建設は 1978 年 11 月 5 日に投票 (英語版) によって中止された。この投票では 50.47% がツヴェンテンドルフの立ち上げ反対に投票した。また、1987 年にオーストリアは発電のための核分裂炉を禁止する法を制定し、以降これを保持している。

現在発電所は一部解体されている。発電所はオーストリアの EVN グループ (英語版) が保有しており、太陽光発電所や教育施設として使われている。ツヴェンテンドルフ原発の代替としてデュルンロア火力発電所 (英語版) が建設された。1978 年の投票の後、電力生産目的で立てられた、運用された原子炉は存在しない。しかしながら 1960 年代以降、科学目的の 3 基の小型原子炉が建設され利用されており、現在も 1 機は稼働している。



原子炉圧力容器底部のコントロールメカニズム



上部からみた圧力容器



低圧タービン



運転室の制御パネル

出典：フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

その他 参考写真 ウィーンからブラチスラヴァへの移動中に見える風車が並ぶ風景 (撮影 2014 年 6 月)





近藤宏樹市長(左)に像の完成を報告する関係者たち＝安来市安来町、市役所

故キリノ元大統領の家族をモチーフにした「平和への祈り」アリアシアと3人の愛児たち

フィリピンの日本人戦犯105人に恩赦を与えた故キリノ元大統領の家族をモチーフにした平和を願う像が、同国のモンテンルパ博物館で3月から展示されることになった。加納美術振興財団(安来市広瀬町布部、加納二郎理事長)が制作し、日本兵に殺された大統領の夫人と子ども3人を悼み、天使になった姿を表現。関係者は日比友好とともに、キリノ元大統領が示した

平和願う像フィリピンへ 3月から現地で展示

安来・加納美術振興財団制作

「救し難きを赦す」という平和思想の広がりを願う。同財団は、キリノ元大統領に日本人戦犯の助命嘆願を続けた安来市広瀬町出身の画家・加納莞菴(1904〜77年、本名・辰夫)の作品を所蔵する市加納美術館を運営している。加納理事長(76)の妻で、莞菴の四女・佳世子さん(74)が名誉館長を務めている。

石粉粘土製の像「平和への祈り」アリアシアと3人の愛児たち」は高さ75センチ、米子市在住の人形作家・安部朱美さん(69)が手掛けた。赤ちゃんを抱いたアリアシア夫人の周りを2人の子どもが舞う光景を表し、優しく慈愛に満ちた作品に仕上げた。

加納美術館は同じモチーフの作品を所蔵しており、加納夫妻が昨年、この像をキリノ家に贈呈したいと作者の安部さんに相談。安部さんは新たな像の制作を提案し、4カ月余りかけて完成させた。15〜24日に加納美術館で特別展示した後、フィリピンに空輸する。

キリノ家の「多くの子どもたちに見てもらい、世界平和と日比友好につなげたい」との意向を受け、像は



左から2人目：名誉館長加納佳世子氏

左から3人目：館長神英雄氏
右から2人目：日比ハーフの石多エドワード氏

首都マニラに近いモンテンルパ市で3月1日に開館する公立博物館が収蔵する。キリノ元大統領と莞菴をテーマとした専用スペースを設け、莞菴直筆の書簡などと共に展示する。

加納夫妻や安部さんら関係者5人が14日、安来市安来町に訪れ、近藤宏樹市長に像の完成を報告。博物館の開館式典に出席予定の加納理事長は「憎しみの連鎖を断ち切ったキリノ元大統領と莞菴の思いが、世界に広がるきっかけになればうれしい」と話した。

来町の市役所を訪れ、近藤宏樹市長に像の完成を報告。博物館の開館式典に出席予定の加納理事長は「憎しみの連鎖を断ち切ったキリノ元大統領と莞菴の思いが、世界に広がるきっかけになればうれしい」と話した。

来町の市役所を訪れ、近藤宏樹市長に像の完成を報告。博物館の開館式典に出席予定の加納理事長は「憎しみの連鎖を断ち切ったキリノ元大統領と莞菴の思いが、世界に広がるきっかけになればうれしい」と話した。

来町の市役所を訪れ、近藤宏樹市長に像の完成を報告。博物館の開館式典に出席予定の加納理事長は「憎しみの連鎖を断ち切ったキリノ元大統領と莞菴の思いが、世界に広がるきっかけになればうれしい」と話した。

来町の市役所を訪れ、近藤宏樹市長に像の完成を報告。博物館の開館式典に出席予定の加納理事長は「憎しみの連鎖を断ち切ったキリノ元大統領と莞菴の思いが、世界に広がるきっかけになればうれしい」と話した。

参考資料

キリノ大統領声明

私はフィリピンに服役中の日本人戦犯にフィリピン国会の賛同を必要とする大赦ではない赦免を及ぼした。私は妻と三人の子供とその他五人の家族を日本人に殺されたため、彼等を赦そうとはよもや思ってもみなかった。私は私の子供や国民が、やがてはわが国の恒久の利益の友となるかもしれない国民に、私から憎悪を受けつがしめないことを欲するが故に、これを行なうのである。結局、運命が私達を隣人となさしめた。(これはキリノ大統領がそのとき発した声明の一部である。)

1953年(昭和28年)7月6日 フィリピン大統領エルビディオ・キリノはメンデルパにあるニュービリビット刑務所に服役していた日本人戦犯105名の釈放または減刑を通告したとき、入院していた。このステートメントはアメリカ、メリーランドのボルチモアにあるジョン・ホプキンス病院の病床からとマニラの大統領府からと、同時に世界に公表されたものである。



嘆願書

閣下

第一嘆願書を奉呈して以来200日の間、日本人であるが故に負わなければならない戦争の極悪と罪の意識を反省してまいりました。厳粛な罪の意識と神への深い信念の履行から、裁きの前にある己を認識いたしました。そして「肉体で生きている生活は、神の子としての信念での生活である」ということを悟りました。「許し難きを許す」という奇跡によってのみ人類に恒久の平和をもたらし、「目には目を」ということでは決して達成し得ないということを、これまで以上に強く感ずる次第であります。

閣下

閣下の手から残虐にも奪い取られた愛児の名において一許し難きを許すーこの奇跡が現れることを待ち望むところであります。何人といえども閣下の胸中に過ぎる悲しみと、怒りと、憎しみの深さを量ることはできないでしょう。私が新たに抱くに到った信念によれば、キリストの如く十字架にかけられ異教徒や不信心者をキリストの御足のもとに寄せ、「主」に感謝し賞賛せしめる慈悲の偉大なる奇跡を顕現させるために努力しているのは、天国にいます閣下の愛児たちであります。

この崇高なる奇跡の成就のあかつきには、神にささげられた閣下の愛児の姿を救いの天使として 画布の上に不朽にとどめたい所存であります。それこそ貴国とわが国との友好と平和を生み出す最良の貢献でありましょう。

私は自ら嘆願することによって共に裁かれ、神の許しを請う立場にあります。この苦行には絵を描くことは出来ません。全戦犯が古瀬と共に許され復活したその日に新しい画家として出発する決意であります。(1949年10月 第4書簡より抜粋)

1949年 10月 加納辰夫

出典: 加納美術館ホームページ

The Daily MANILA SHIMBUN

Thursday, 20 June 2019
1万円=¥4,680
\$100=¥5,170

HOME NEWS JAPAN NEWS FEATURES BUSINESS SPORTS LIFESTYLE VIDEO ARCHIVE



Japanese doll statue of Quirino's wife, children in Muntinlupa Museum
March 1, 2019

A Japanese art piece to promote peace was placed in the newly-built "Museo ng Muntinlupa" (Museum of Muntinlupa) on Friday.

The doll, called "Pray for Peace: Alicia and her three children", was inspired by the family of former President Elpidio Quirino, who gave clemency to the Japanese soldiers detained at the New Bilibid Prisons n Muntinlupa City in 1953.

According to its sculptor, Akemi Abe, it not only symbolizes the family of Quirino whose wife and children were killed but to all Filipino victims during the Japanese occupation.

She said in order to cut the cycle of hatred one must show forgiveness.

"That's why I named it Pray for Peace because as they are in the process of going to heaven but while going, they are praying for peace," said Abe in an interview with The Daily Manila Shimbun.

Abe said she is honored to be part of this project and be present in Friday's event.

The doll statue was donated by the Kano Museum of Art from Shimane, Yasugi City in Japan to the Quirino Foundation which gave it to the museum for the public to see it.

One of the guests is the daughter of Tatsuo Kano, one responsible for the granting of clemency to the Japanese prisoners of war after sending petitions letters to Quirino on 1949.

In July 1953, Quirino finally granted executive clemency to those charged with war crimes, including 114 Japanese prisoners of war.

"My father has been sending petition letters to President Quirino since 1949 asking for a clemency for the Japanese wars criminals," Kano Museum of Art Honorary Director Kayoko Kano said in her speech during the museum's soft opening.

"President Quirino gave the pardon to Japanese POWs as gesture in response to the idea of my father who thought forgiveness shall be the start of the friendship among two countries," she added.

Kano said she is happy that Filipinos will be able to see the petition letters wrote by her father as it will be displayed at the 2nd level of the museum with the doll statue.

"Such gesture should not be forgotten by the Japanese," she said.

"I wish from my heart that peace around the world, including the Philippines and Japan will last forever," she added.

Cory Quirino, representative of President Elpidio Quirino Foundation, said they are very grateful and touched with the gesture of the Kano family.

"This beautiful madonna represents not just love but also forgiveness," Quirino said.

She said they are even happier after Mayor Jimmy Fresnedi said the city of Muntinlupa are open to have a "sister city agreement" with Yasugi City.

"The presence of the Kano family has formalized this dream and we hope to pursue this dream and make it a reality. We are ever grateful and we will continue to keep that memory and that friendship alive between Kano family and Quirino family. To keep our history alive that we will never forget," she added.

Other memories of the Japanese occupation in Muntinlupa City can be found on the 2nd level of the 5-storey museum located at Centennial Avenue in Barangay Tunasan.

The museum has yet to be opened to the public. **Ella Dionisio/DMS**

Latest Videos

- Manila Files Diplomatic Protest Against Beijing Over Boat Sinking
- RARA AVIS: Filmmaker Tikoy Aguiluz's first solo exhibit at Kanto Gallery, Makati Central Square.
- Duterte invites Emperor Naruhito, Empress Masako to visit Philippines
- MARAWI: Two years after the war
- Comelec proclaims 12 Senate winners; Cynthia Villar tops race
- ACT-CIS, Bayan Muna, Ako Bicol, Cibac, Ang Probinsyano lead partylist race in PPCRV, Comelec, counts
- Comelec count trending to a 12-0 administration win in Senate race





The Daily MANILA SHIMBUN

The Daily Manila Shimbun (DMS) was first distributed in Metro Manila on May 3, 1992 as the Kyodo News Daily (KND)

READ MORE

QUICK LINKS

HOME

ABOUT US

The Daily Manila Shimbun Story

Video

MONEY CURRENCY

WEATHER

CONTACT US

CATEGORIES

News

Japan News

Features

Business

Sports

Lifestyle

CONTACT US

ADDRESS
Room 113 Tower Ground TG (4/F), Makati Cinema Square Tower,
Chino Roces, Makati City, Metro Manila, Philippines

TELEPHONE
(02) 551-8238 / 807-8918

© 2017 The Daily Manila Shimbun

参考資料

平和を希い続けた 加納莞菴

自画像 (1976 年)

28

29

第4書簡 英文

Tokyo,
October 30, 1945.

His Excellency Elpidio Quirino,
President of the Philippines Republic.

Excellency,

I have the honor to address to you another letter in behalf of Takekazu Furuse, who has been sentenced to death by the Philippines Military Court.

During the past 200 days since I sent you my first petition I have lived like one doing penance, reflecting on the enormity of war and the share of guilt I must bear as a fellow countryman of Furuse and other Japanese war criminals. The consciousness of my standing together with him before judgment has led us from solemn contemplation of sin and redemption to a deep faith in God. I have come to realize that "the life which I live in the flesh I live by the faith of the Son of God."

I believe more strongly than ever than only the miracle of the unforgivable being forgiven can bring to mankind eternal peace, which will never be achieved by demanding tooth for tooth.

In the beginning did God work miracles to save the world. Now is the moment for still another great miracle.

Excellency, I look forward to witnessing this miracle -- the forgiving of the unforgivable -- in the name of Your beloved children who were so brutally snatched away from You.

- 2 -

None can measure the depth of the grief, wrath and hate that must have filled your heart. But in the faith I have newly embraced I dare say that it is your dear children in Heaven who were crucified like Christ, and who are now to work the great miracle of mercy that will bring to the feet of God heathens and unbelievers, thanking and praising the Lord.

I pray for the pardon of Furuse, not as a soldier of honor, but as a man. In solitude and in sorrow and contrition he has lived with God for these long weeks and months since his conviction. An ample opportunity has been given him for spiritual regeneration. He will return to his country a living Gospel of love, and help rebuild Japan as a peaceful nation, chastened and free.

Excellency, I am a painter of peace. Your Minister, Dr. Africa knows me well. To art and artists there is neither border nor race.

When the great miracle is accomplished, I hope to perpetuate its memory on canvas by being allowed the privilege of painting the hallowed images of your beloved children as angels of salvation. That would be the best service I could render to the peace and concord between your republic and my country.

Most respectfully,

Tatsuo Iano

Ajiya Main Office,
No. 1 1-chome, Ginza-nishi,
Chuo-ku, Tokyo.

第4書簡 日本文

1949年10月30日

大統領閣下

私はフィリピン軍事法廷において死刑を宣せられた古瀬貴季に関し再び嘆願書を奉呈いたします。第一嘆願書を奉呈して以来二百日の間、私は懺悔の生活を守り、古瀬やその他の日本人戦犯と同国民であるが故に負わなければならない戦争の極悪と罪の意識を反省してまいりました。厳粛な罪の意識と神への深い信念の履行から、彼と共に裁きの前にある己を認識いたしました。そして「肉体で生きている生活は、神の子としての信念での生活である」ということを悟りました。

「赦し難きを赦す」という奇跡によってのみ人類に恒久の平和をもたらし、「目には目を」ということでは決して達成し得ないということを、これまで以上に強く感ずる次第であります。まず最初に世界を救うという神の奇跡の顕現がありました。そして今、再び奇跡の現われるべき時であります。

大統領閣下

閣下の手から残虐にも奪い取られた愛児の名において一赦し難きを赦す—この奇跡が現われることを待ち望むところであります。何人といえども閣下の胸中に過ぎる悲しみと怒りと憎しみの深さを量ることはできないであります。しかし、私が新たに抱くに到った信念によれば、キリストの如く十字架にかけられ、異教徒や不信心者をキリストの御足のもとに寄せ、主に感謝し賞讃せしめる慈悲の偉大なる奇跡を顕現させるために努力しているのは天国にいます閣下の愛児たちであります。

私は古瀬の赦免を、軍人としてとか名誉のためにとかではなく、一人の人間としてそれを願うものであります。孤独と悲哀と悔恨のうちに、有罪判決後何週間何ヶ月間、神と共に彼は生きてきております。彼が精神的に復活するのには十分な時間が与えられました。彼は愛の具現者として祖国に帰り、自由で平和な国家としての日本の再建に寄与するであります。古瀬は判決において全戦犯を象徴しております。故に全戦犯にも同様に祝福され慈悲が与えられることを信じ切望するものであります。

閣下。私は平和を求める画家であります。貴国公使ベルナベ・アフリカ博士は私のことをよく承知しておられます。芸術や芸術家にとっては国境もなければ人種上の相違もありません。この崇高なる奇跡の成就の暁には、閣下の愛児が神にささげられた姿を救いの天使として、画布の上に不朽にとどめたい覚悟であります。それこそ貴国とわが国との友好と平和を生みだす最良の貢献であります。私は自ら嘆願することによって戦犯と共に裁かれ、神の許しを請う立場にあります。この苦行では絵を描くことができません。全戦犯が古瀬と共に許され復活したその日に、新しい画家として出発する決意であります。

敬具
加納辰夫



キリノ大統領に対して2通目の嘆願書(第2嘆願書)を書こうとした時、大統領が妻と3人の子どもを日本兵に殺されたことを知った。これを契機に、「平和とは何か」について一層深く考えるようになった。

第4書簡では、大統領がキリスト教徒であることを知った莞薈が、キリスト教について学んだ上で記したものだ。「あの第4書簡は涙ながらに書いたなあ」と後に話している。

この中には「赦し難きを赦す」、「目には目をでは平和は訪れない」の2点が強調され、「私は平和を求める画家です。平和への思いのあまり絵筆を持つことができません」と記している。それを示すように、それ以降、独立美術展をはじめあらゆる公募への出品を取りやめ、画壇との関係も断った。

大統領声明 英文

I have extended pardon to Japanese war prisoners serving terms in the Philippines not as amnesty which requires the concurrence of the Philippine Congress.

I should be the last one to pardon them as the Japanese killed my wife and three children and five other members of my family. I am doing this because I do not want my children and my people to inherit from me hate for a people who may yet be our friends for the permanent interest of our country. After all destiny has made us neighbors.



大統領声明 日本文

私はフィリピン服役中の日本人戦犯にフィリピン全国賛同を必要とする大赦ではない赦免を及ぼした。

私は妻と三人の子供とその他五人の家族を日本人に殺されたため、彼等を赦そうとはよもや思ってもみなかった。

私は私の子供や、国民がやがてはわが国の恒久の利益の友となるかもしれない国民に、私から憎悪をうけつがしめないことを欲するが故に、これを行うのである。

結局運命が私達を隣人となさしめた。

これは1953年(昭和28年)7月6日フィリピン大統領エルピディオ・キノがモンテンルパにあるニュー・ビリビッド刑務所(New bilibid Prison)に服役していた日本人戦犯105名(うち死刑囚59名)の釈放または減刑を通告したとき、入院していたアメリカ、メリーランドのボルチモアにあるジョンホプキンス病院の病床からとマニラの大統領府からと、同時に世界に公表されたステートメントである。

1 原発は安くない。

政府試算10.1円/kWhは、2つの重要なコストを過小に抑え、ムリヤリ安く見せています。1つは賠償・除染・廃炉費用の保険料（左下参照）。2つ目は放射性廃棄物の処分に関わる費用（下グラフ中の円形コラム参照）。
→原発はどれよりも高いのです。

2 環境破壊の元凶です。

原発で生まれた熱エネルギーの1/3は電力へ、残り2/3は海を温めます。1秒に70トンの海水を7℃上げて放出します。青森県・岩木川級の水量です。さらに薬品使用でプランクトンや海草を死滅させ、周辺は死の海になります。

3 原発作業の管理は杜撰。

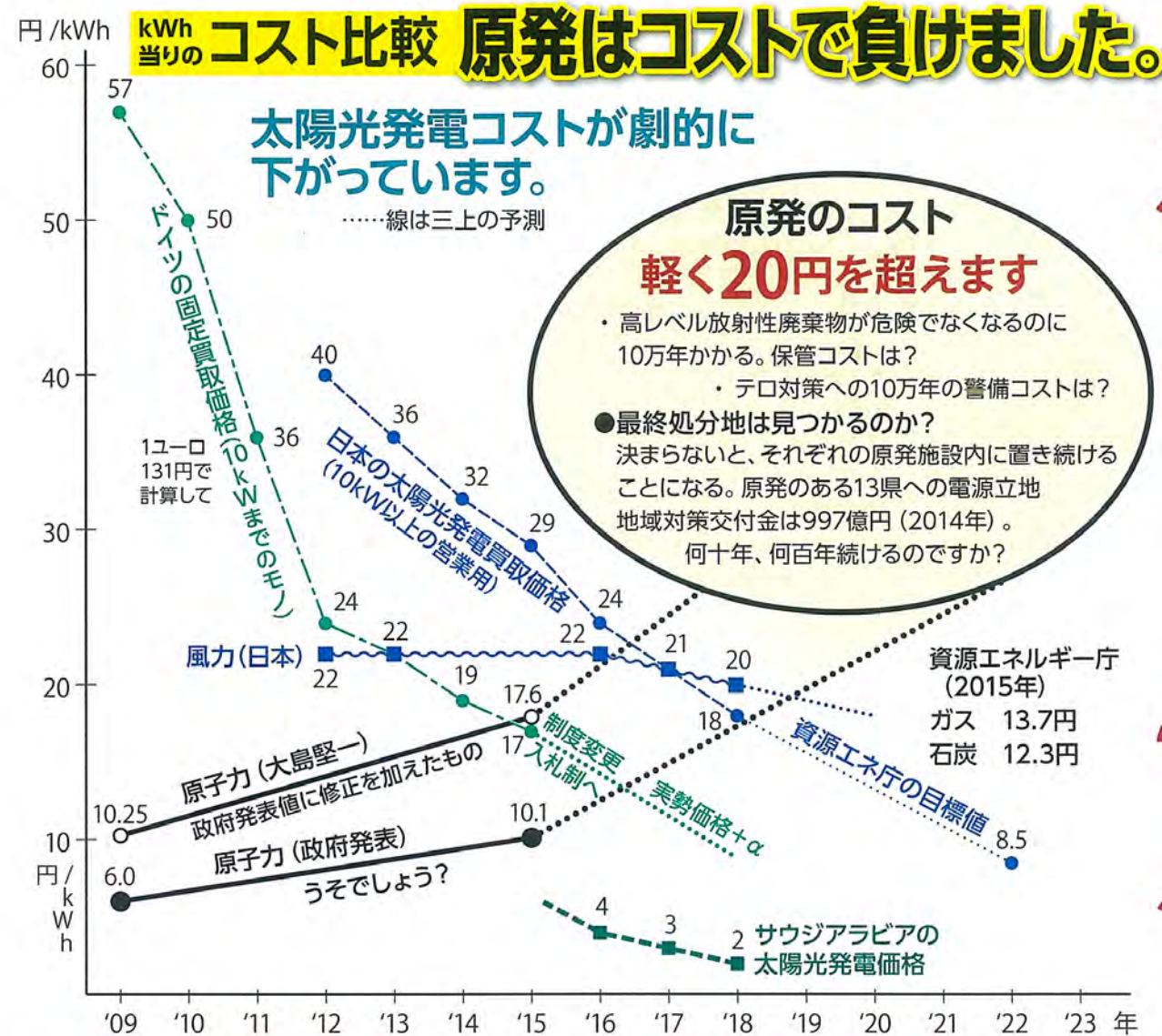
18年10月に過労死と認定された人は半年間連続80時間を超える残業が続きました。しかし電力会社も元請け会社も管理責任を取ろうとしません。日本の原発作業員の賃金は下請けの下請けへとピンハネされ、危険なのに安いのです。こんなに杜撰ではテロリストが作業員として紛れこみかねません。

4 10万年保管する場所は？

小泉元総理は、福島原発事故の後、自分で勉強し、最後にフィンランドの最終処分場を見学して、「日本に10万年大丈夫なんて所はない、原発は直ちにやめよう」と決心し「原発ゼロへ」の活動を開始しました。

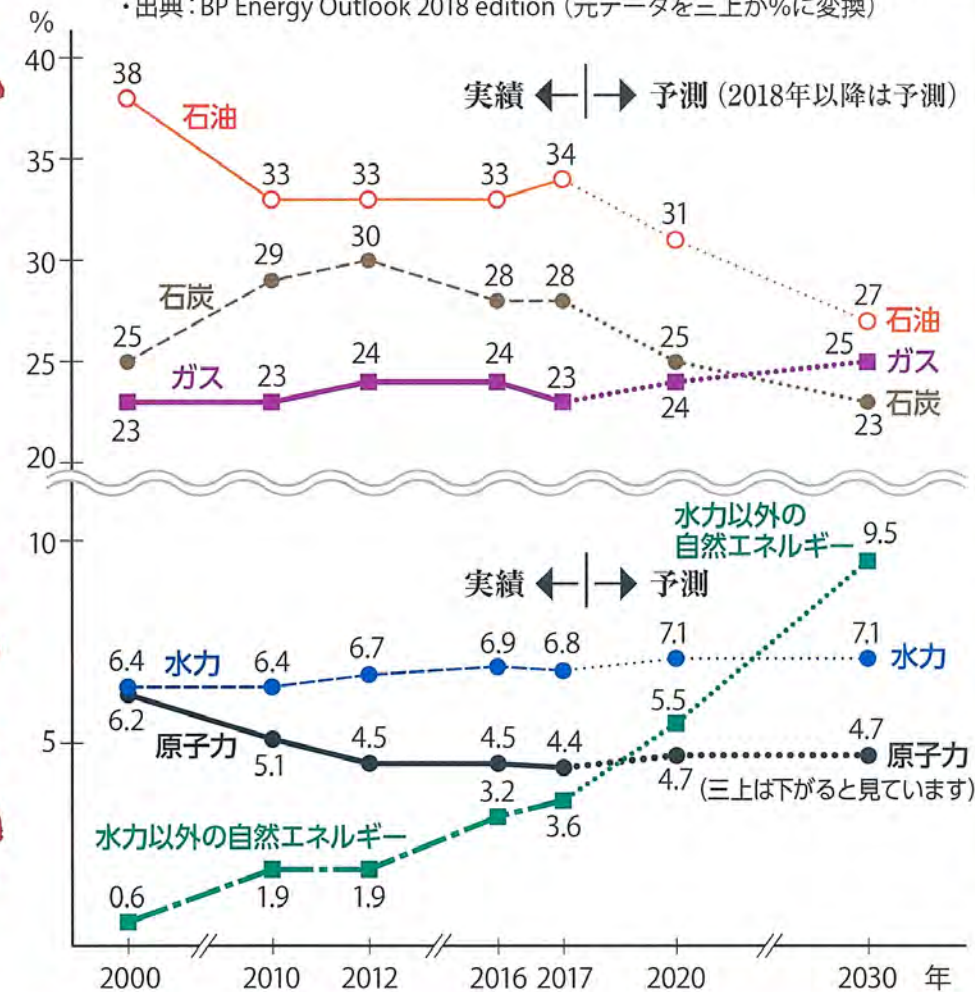
5 日本にテロ対策なし。

2001年9.11テロのように旅客機が原発を狙ったら大惨事です。その対策をした仏フランスマンビル原発は1基1兆4000億円と1995年当時の2倍以上の建設費になりました。欧米では警備は100人規模で、軍隊が主流です。



世界の1次エネルギー比率

・1次エネルギー（暖房、自動車や機械の動力、発電などの元となるエネルギー）
・出典：BP Energy Outlook 2018 edition（元データを三上が%に変換）



6 戦争なら標的に

今や戦争はミサイル時代。その標的となる原発をなくすることが国防の第1です。国防族の原発維持派は、日本の滅亡を賭けてでも核兵器を持ちたい人々です。

7 日本は地震大国

平成30年、北海道では活断層のない所に阪神大震災並みの震度7の直下型地震が発生しました。日本中どこでも安心できません。

8 人間はミスをする。

ミスゼロのことを神業といいます。チェルノブイリは操作ミス、福島は想定外の甘さ、というミスを犯しました。

コピーはご自由に
ブログもよろしく

もし原発を続けるなら

1. 廃炉10兆円、賠償など10兆円の保険掛金は？
世界に413基の原発。50年で6基の重大な炉心溶融事故。20兆円×1/413×6/50=20兆円×6/20,650≒58億円 ※日本は地震国なので、その5倍は必要。 →すると290億円/年・基の保険料です。
2. 原発作業員の採用から労務管理のすべては電力会社の責任とする。個人別賃金を匿名レベルで公開する。
3. 万全なテロ警備対策を、空へ、地上へ、ドローンへ。常時20人配備には3交替100人で年20億円。

だからやめよう

- 作ってしまったから、もったいないではなく1978年のオーストリアに学ぼう。
1. 稼働中の原発をやめよう。
 2. 建設中の原発工事をやめよう。
 3. 六ヶ所村の再処理をやめよう。
万一事故なら、フランス、ラ・アーグ再処理工場の恐怖。
日本なら東日本全体が住めなくなるかも……。

すぐ改めよう

1. 送配電会社を完全に分離して互いに独立した事業にしよう。（今の形式分離ではなく）
2. 太陽光発電の送電線接続料を大幅に下げよう。
3. 年間20ミリシーベルト以下になれば直ちに「支援打ち切り」の冷たい仕打ちは改めよう。

国と大学の役割

1. 大学は、廃炉研究料を設けて原発関連人材を育てる。
2. 国は、廃炉庁を設け、廃炉の進捗管理責任を全面的に負う。
3. 高レベル放射性廃棄物の実現可能な処分方法を早急に検討する。

国庫負担は覚悟しよう

1. 廃炉で生ずる除却損（13兆円）（2014.9.12. 金森・大島レポート）
 2. 六ヶ所村再処理工場の後始末（3兆円）
 3. 市町村への原発交付金（40年で3兆円の実績）は当分続ける。
- 原発ゼロのために、合計19兆円程度の国庫からの支出（国民負担）は受け入れよう。

2019年 新春号

発行責任
三上 元

静岡県湖西市
新所5957-8
FAX 053-578-2891

協賛
城南信用金庫



QRコードをスマートフォンまたはタブレットのカメラで読み取り動画をご覧ください

講演会ダイジェスト動画
(映像時間: 14分)



開演前動画
(映像時間: 35分)



一般財団法人

人間自然科学研究所

<https://www.hns.gr.jp/>

〒690-0046 島根県松江市乃木福富町 735-188
TEL: 050-3161-2490 FAX: 050-3161-3846

無断転載禁止

No reproduction or
republication without written
permission.

ver.20190312 y.kobayashi